

にぎわい ~人も心もワクワクにぎわうまち~

畑かん事業により安定した農業経営を支援

西諸地区畑かんがい事業の国営事業である西諸二期工事にかかる負担金を支払います。

……18億1420万円（農業振興課）



二期工事では、パイプラインやファームポンドが整備されました。浜ノ瀬ダムの水を利用することで、安定した農業経営が可能になります。



ふるさと納税などで特産品の流通を促進

ふるさと納税制度を活用し、地域経済の活性化と本市ファンの獲得を図ります。

……4億6195万円（地方創生課）



ふるさと納税で集められた寄附は、子育て支援など市の施策の推進に充てられます。また、地域の魅力発信や地域経済の活性化などにも活用されます。



観光DMOの観光地域づくりを支援

観光客誘致による交流人口や雇用の増加を目的に、観光DMOが中心となって取り組む観光地域づくりを支援します。 ……5350万円（商工観光課）



DMOとは、観光で稼ぐためにマーケティングとマネジメントを行う組織体制のこと。地域資源を最大限活用し「稼げる」観光地域づくりを支援します。

次世代の農業の担い手を確保

農業後継者や新規就農者の早期経営安定と次世代の農業の担い手確保を進めます。

……3938万円（農業振興課）



市の基幹産業である農業の後継者不足は、喫緊の課題です。地域農業振興のため、次世代の農業の担い手である農業後継者や新規就農者を確保します。



分野別

令和2年度の重点事業

「みんなでてなむ 笑顔あふれる じょじょんよかところ 小林市」の実現を目指して

令和2年度の予算が成立しました。最重要施策に健幸のまちづくりの推進を位置づけ、「市民が笑顔になれる小林市」を目指した予算の概要と主な事業を5つの分野に分けて紹介します。

いきいき

健康でいきいき
つながり合う
笑顔のまち

にぎわい

人も心も
ワクワク
にぎわうまち

まなび

生涯を通じて
学び合い
育ち合うまち

くらし

豊かな自然と共に
安心して
くらするまち

計画の実現
に向けて

新…新規事業 ふ…ふるさと納税の寄附金を活用する事業

いきいき ~健康でいきいきつながり合う笑顔のまち~

保育士などの業務・経済的負担を軽減

保育士などの業務負担・経済的負担を軽減し、保育人材の確保および離職の防止を図ります。

……4041万円（子育て支援課）

市立病院産婦人科の運営体制を支援

西諸3市町が連携して、小林市立病院の産婦人科の運営体制を支援します。

……2637万円（医療介護連携室）

子ども医療費の助成で子育て環境を充実

未就学児や小・中学生の医療費助成を継続し、子育て環境の充実を図ります。入院、外来の自己負担は、未就学児が350円、小・中学生が800円。薬代の自己負担はありません。

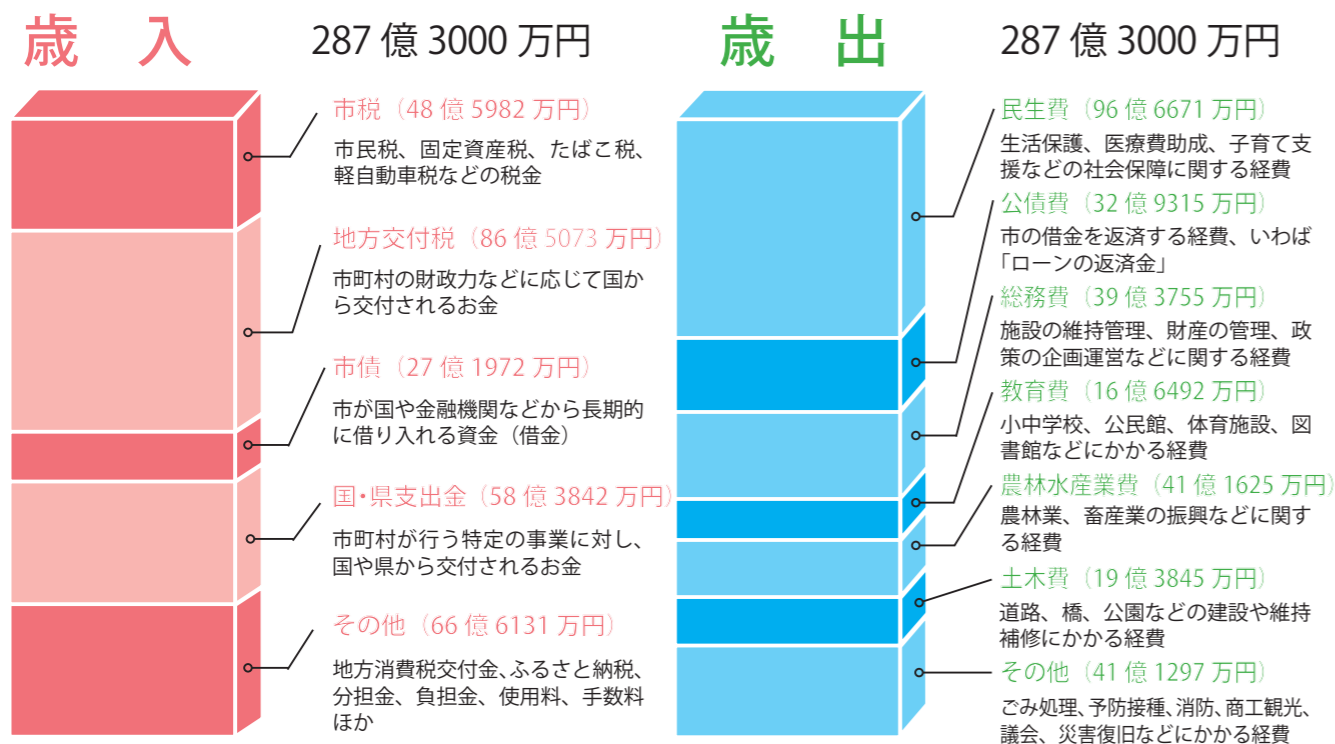
……1億4129万円（子育て支援課）



一般会計予算は 287 億 3000 万円

令和2年度の予算は、前年度と比較すると、5.5%増加しました。主な増加理由は、国土土地改良事業負担金が償還年度を迎えるためです。健幸のまちづくりの推進を最重要施策に位置付け、真に必要な投資と財政健全化の両立を図りながら、第2次小林市総合計画に掲げる将来都市像「みんなであつた 笑顔あふれる じょじょんよかこ 小林市」の実現を目指します。

一般会計



各特別会計

会計名	予算額
国民健康保険事業特別会計	62 億 9695 万円
物品購入特別会計	250 万円
農業集落排水事業特別会計	2 億 822 万円
西諸地域介護認定審査事業特別会計	3047 万円
介護保険事業特別会計	64 億 5357 万円
後期高齢者医療事業特別会計	13 億 4517 万円
西諸地区いじめ問題対策専門家委員会特別会計	17 万円

予算総額

一般会計と特別会計、企業会計(水道事業・下水道事業と病院事業)の総額は 490 億 3112 万円となりました。

490 億 3112 万円

一般会計	287 億 3000 万円
特別会計	143 億 3705 万円
水道事業	16 億 1005 万円
下水道事業	10 億 9878 万円
病院事業	32 億 5524 万円

まなび ~生涯を通して学び合い育ち合うまち~



タブレット型パソコンなどを活用して ICT 教育を推進します。

小・中学校の給食費を半額助成

子育て世代の負担を軽減するため、小中学校の学校給食費の半額を補助します。

ふ ……7095 万円 (スポーツ振興課)

学習活動の充実を目指して ICT 環境を整備

ICT を効果的に活用し、学習活動の充実を図るため、市内全小中学校に ICT 環境を整備します。

新 ふ ……4814 万円 (学校教育課)

くらし ~豊かな自然と共に安心してくらするまち~

災害時の連絡手段をデジタル化

消防団の出動時や災害対策本部設置の際に使用する IP 無線機を整備します。

新 ……3495 万円 (危機管理課)

タクシー料金助成を拡充

高齢者、障がい者などに交付するタクシー利用券の交付枚数を拡充し、外出支援を促進します。

……1222 万円 (長寿介護課)

KNT クリーンセンターの設備を改良

更新時期を迎えている KNT クリーンセンターの基幹的設備の改良を行います。

……5 億 665 万円 (生活環境課)

地域防災センター (仮称) を整備

自主防災組織などの活動を促進し、防災力および災害対応力の向上を図るため、地域防災センター (仮称) を整備します。

新 ……7810 万円 (危機管理課)



⑤ IP 無線機は、携帯電話通信網を活用した無線機のこと。
⑥ 防災意識を高め、災害に強いまちづくりを目指します。

計画の実現に向けて

住民が健康で元気に暮らせるまちへ

歩くことの習慣化に重点を置いた健幸都市の実現を目指します。

新 ……874 万円 (健康都市推進室)

光ファイバー整備で情報通信格差を解消

須木、西小林地区などの光ファイバー未整備地区に高速情報通信網を整備し、情報通信格差の解消を図ります。

……1 億 2600 万円 (企画政策課)



健幸とは「健康」と「幸せ」の両方が備わり、生きがいをもって自分らしく毎日いきいきと暮らしている状態のことです。